

標高500メートルの山のてっぺん。  
世羅高原の畑から、  
農薬、化学肥料を使わずに育てた採れたての野菜をお届けします。

## 春は、かけ足でやって来た

2月になっても、畑が雪に埋もれたままになったり、道路がガチガチに凍ってしまったりすることもほとんどなく、今年はこのまま春になりそうな気配です。昨シーズンの冬が非常に厳しかっただけに、あっけない冬の終わりです。3月、4月は端境期で、野菜が少なくなる季節ですが、ハウスの中の葉物野菜はどんどん大きくなっていきそうです。

3月になると、ズッキーニの種をまきます。サトイモの芽出しをし、下旬にはハウスの中に仮植えをします。畑が乾いてきたら、トラクターを入れて、露地の畑のうね立て準備を始めます。

## ハラハラとドキドキと

2月は、春から夏にかけて作る野菜の種の準備をする季節。最近の暑すぎる夏をどう乗り切るか…。なかなかうまく作ることができていないトマトやカラーピーマンをどうするか…。種のカatalogを前に、ああでもない、こうでもない、と、頭が爆発してしまいそうでした(?! )。

自分が食べておいしいと思う野菜を作る。  
家族が食べておいしい野菜を作る。  
そして、一年を通しておいしい野菜を作る。

定番の野菜はもっとおいしく、珍しい野菜も取り混ぜながら、今年も、ハラハラとドキドキのある野菜作りを目指します。

### 〈3月の野菜〉

- 露地の畑では、白菜、人参、ネギ、大浦太ゴボウ、辛味大根などが収穫中。2月末から、つぼみ菜や菜の花の収穫が始まりました。中旬頃からは、アサツキや葉エシャロットの収穫が始まる予定です。
- ハウスの中では、小松菜や水菜、ホウレン草、赤茎ホウレンソウ、わさび菜、リアスからし菜、ロケットなどが収穫中です。大根間引き菜や葉タマネギ、葉ニンニクなどの収穫が始まります。

※ハウスの中の野菜には、アブラムシやサイゾウムシの幼虫がついていることがあります。よく洗ってから使ってください。  
50℃洗いがおすすめです。



### 〈キャベツの芽が出ました！〉

これは、いちばん最初に収穫するグリーンボール。時期をずらしながら、品種を変えながら、この後何回か種をまきます。グリーンボールは、6月初め頃から収穫が始まる予定です。



### 〈テントウムシ、動き始めました！〉

2月22日、露地の辛味大根を収穫しているときに見つけました。25日には、ウグイスの初鳴きの声を聞きました。



### 〈畑に野ウサギが！〉

2月12日、南の畑で見つけました。何かモコモコしたものがある…と、よく見てみると、ウサギがうずくまっていた。もしかして、畑の人参をかじって食べているのは、君？

- ・山本ファミリー農園の日々の様子は、フェイスブックで。
- ・畑の野菜で作った“うちのごはん”の写真是、山本ファミリー農園のブログで。  
[http://blog.goo.ne.jp/tonchan\\_sy/](http://blog.goo.ne.jp/tonchan_sy/)

# 世羅は古くから農業地帯だった

広島中部台地国営農地開発事業

## 世羅台地の歴史

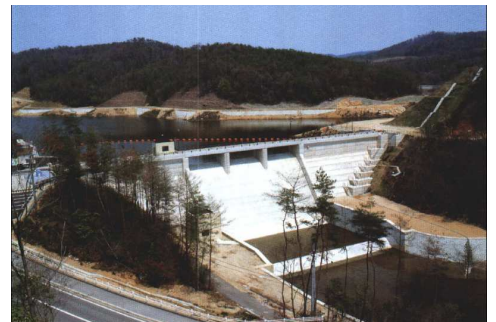
私たちの畑のある世羅台地は、広島県の中央部にある標高450m～600mの丘陵地帯で、古くから人が住んでいた形跡があり、多くの縄文土器や石鍬、石斧等が発見されています。なかでも旧世羅町・旧甲山町を中心とした「太田の荘」と言われた地域は、平安時代末期に平清盛の五男である平重衡の荘園となり、平氏滅亡後高野山に寄進され高野山領となりました。高野山はここに総領所を置き、この地域の管理を行い、耕地は613haであったとの記録があり、古くから優良な農業地帯であったことがわかります。

しかし世羅町の北東から西南にかけて分水嶺があり、世羅町北西部(私たちの畑もこの地域)は日本海に流れる江の川水系に、南東部は瀬戸内海に流れる芦田川水系に属しています。そのため、古くから水の確保に苦労してきた地域でもあります。

昭和40年代高度経済成長期で農業が停滞する中で、立地条件、地域資源等から見て農業を第一に考えないと、地域経済の発展は望めないという判断から、農地開発、畑地灌漑により経営の安定、地域経済の発展を図ろうと、昭和52年度より関係5町(世羅町、世羅西町、甲山町、賀茂郡大和町、御調郡久井町)を受益市町として、地域内の未墾地834haに農地造成を行ない、畑地かんがいを行うため2つのダム建設を伴う国営広島中部台地開拓建設事業が着工しました。



江の川水系にある、ロックフィルダムの目谷ダム。



芦田川水系の京丸ダム。重力式コンクリートダム。

## 国営広島中部台地開拓建設事業の概要

- (1) 事業工期 昭和52年度～平成9年度
- (2) 受益市町村

広島県世羅郡世羅町、世羅西町、甲山町、賀茂郡大和町、御調郡久井町(※市町村名は事業実施時点。)

- (3) 受益面積 570ha (内訳) 農地造成 357ha、附帯土地改良 213ha
- (4) 主要工事  
目谷ダム 総貯水量 1308千m<sup>3</sup>、堤体積 535千m<sup>3</sup>、ロックフィルダム  
京丸ダム 総貯水量 499千m<sup>3</sup>、堤体積 21千m<sup>3</sup>、重力式コンクリートダム  
幹線用水路 25.9km  
支線水路 45.3km  
幹線道路、準幹線道路 20.8km  
支線道路 14.0km

## 入植に応募して

事業開始から12年たち、農業情勢の変化などにより入植希望者が不在となったため、県民だより、新聞、ラジオ、テレビ等のマスメディアを利用して入植者の募集が行われました。

私たちがこの県広報誌を見たのは、ちょうど長男が生まれ、子育てのために田舎暮らしを考えていたところで、軽い気持ちで説明会に参加したのが、「山本ファミリー農園」の始まりとなりました。一年を通して無農薬で野菜を栽培し、宅配便で届けるという方針は考えていたものの、農業経験がないので実際に野菜を作れるのか、当時の世羅西町役場や、世羅町にあった農業普及センターを何度も訪ねて相談し、その結果入植候補地で一年間、野菜を作ってみることになりました。

(来月号に続きます)

山本ファミリー農園

